

中高一貫校と定時制高校の設置を積極的に

新風会 岡田康弘



質問 ↓ 中高一貫校と定時制高校の設置に向けて積極的に働きかけるべきでは。教育の諸問題解決のため24年度予算に盛り込んだ事業は、発達障害のある児童生徒の急増などを踏まえた今

後の特別支援の充実は。

市長 ↓ 中高一貫校などが設置されれば教育施設の面だけでなく、多様な都市機能の一つが加わることで市の魅力アップにつながる。県教委の動向を注視しながら教育委員会と歩調を合わせ働きかけていきたい。

教育長 ↓ 諸課題解決への施策として学力向上、生徒指導などを目的に中学校区で取り組む小中学校連携事業、少人数指導など落ち着いた学習環境を整える学級安心サポート事業を予算計上。（仮称）特別支援教育センターの開設に向けて計画的に取り組む。

「3年以内100万人」へ挑戦

日本共産党津山市議員 久永良一



質問 ↓ 津山の観光の弱点は、通過型観光と観光客数が少ないこと。この二つの弱点を打破するには、津山でもっとも歴史と文化が集積している津山城と城下町と城東町並み保存地区を

一体化した観光拠点をつくり、全国的な宣伝で観光必須条件を充実させることである。ここ数年間で、一定の前進があり、滞在観光客100万人実現の足がかりができたと思う。3年以内に観光客100万人が訪れ、喜んでもらえるよう、魅力的な観光拠点づくりと全国的な宣伝を行うための中心的なプロジェクトチームが必要では。

市長 ↓ 「3年以内」に、そういった立場で対応していく。
産業経済部長 ↓ プロジェクトチームの設置は研究する。

民は負担増、議員は笑顔でよいのか

山田 誠



質問 ↓ 当初予算は近年になく厳しい削減となっており、市民の負担は増すばかりとなっている。職員給与の引き下げもあるが、まずは議員報酬を引き下げるべきではないのか。財政調

整基金残高や将来負担率からみて今後10年の財政計画はどうなるのか。

答弁 ↓ 議員報酬については、議会の方向性が示されれば検討する。市では第三セクター等改革推進債の償還期間を踏まえた財政計画の作成中であり、国・県との協議が整い次第、財政計画を示す。

質問 ↓ 農協と協力し都市部への農産物販路開拓に取り組み気はないのか。
答弁 ↓ 都市部への農産物販路開拓については、農商工ネットワークの中で関係者と協議していきたい。

アルネビル・裁判所の鑑定では「高すぎる」との結果

日本共産党津山市議員 末永弘之



質問 ↓ アルネビルを巡って、県から不正流用事件を指摘されるなど、様々な経過があったが、最後には平成17年に津山市が床を62億円で購入した。これが「不当」だとして裁判になっているが、

このたび、裁判所が決めた鑑定士が「鑑定主文」を発表し、全体で約29億円高すぎるといわれた。最終的な判決ではないがどう思っか。

答弁 ↓ 裁判所の判決が出て、本格的な対策が必要と思っているが、鑑定の結果は厳粛に受け止めている。

質問 ↓ 新クリーンセンター建設へ本格的な動きを見せているが、申請書の間違いとか、土壌汚染の実態とか、土地購入を巡る訴訟など、問題を先送りして事を推進してはいけない。
答弁 ↓ それぞれの対策が必要であり、今後とも、問題点の整理をしたい。

◎ 有権者が威迫してあるいは議員を陥れる目的で寄付を求めると処罰されます。